

8月4日(月)
揺れを感じたら
すぐに高台へ！

津波避難訓練が赤羽根小学校で行われ、児童125名が参加しました。訓練では、赤羽根中村海岸で親子ふれあい活動(砂浜遊び)をしている際に地震が発生したことを想定。児童たちは、PTA、自主防災会の避難誘導に従い、海岸から全力で駆け出して避難を行いました。



▲赤羽根小学校を目指して、海岸から避難する赤羽根小の児童たち

8月6日(土)
日々重ねた訓練
成果を競い合う！

愛知県消防操法大会が小牧市で行われ、田原市消防団代表として東部分団が出場しました。この大会は、放水までの時間と行動審査で競い合います。大会当日、雨が降り足元がぬかるむ中、日ごろの訓練の成果を発揮し、健闘しました。



▲【出場メンバー】鈴木康高(指揮者)、鈴木仁(1番員)、鈴木裕太(2番員)、高橋拓也(3番員)、西山恭弘(補助員)／敬称略

7月27日(日)
自然の力に挑む
砂防の技術を学ぶ

親子砂防教室が行われ、市内の親子39名が参加しました。土砂災害の恐ろしさや砂防事業について学ぼうと県治水砂防協会と田原市の主催で行われたこの教室。参加者たちは、岡崎市内の砂防えん堤などで、ガイドの説明を聞きながら現場を見学しました。



▲長沢連沢の砂防えん堤(岡崎市)を見学する参加者たち